

理科の学習について（こんなことを学習します）

学習概要

「自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を図り、科学的な見方や考え方を養う。」教科です。



重点目標・努力点

- 観察、実験、栽培、飼育など自然に対する意図的な働きかけを通して、自然の偉大さ、巧みさ、不思議などを感じ、自然を育てる心を育てます。
- 自然の事物・現象から問題を見だし、解決方法を予想し、結論を得る活動を通して、問題解決の能力を育てます。
- 主体的な問題解決の活動により、事象の性質や相関性を実感することで、科学的な見方や考え方を育てます。

学習の仕方・工夫

- ・直接経験（飼育・栽培・観察・実験・ものづくりなど）を多く取り入れ、実感を伴った理解ができるようにします。
- ・自然を主体的に調べる活動を多く取り入れます。
- ・観察・実験器具は、時間をかけて何度も繰り返し使い、基礎的な技能を習得できるようにします。
- ・情報収集や情報交換のため、コンピュータや視聴覚機器を活用します。
- ・子どもたちが安心して観察・実験ができるよう、安全に十分配慮します。

評価のポイント

〔知識・技能〕

○生物の成長の様子や体のつくりにはきまりがあることや、自然事象にはきまった性質があることなどを理解しているか評価します。
○簡単な器具や材料を見つけたり、使ったり、作ったりして観察、実験やものづくりを行い、その過程や結果を分かりやすく表現しているか評価します。

〔思考・判断・表現〕

○自然事象を比較しながら問題を見だし、差違点や共通点をとらえ、予想を立てて問題を解決しているか評価します。

〔主体的に
習に取り組む態度〕

○自然事象に興味関心をもって追究し、生物を愛護するとともに、見いだした特性を生活に生かそうとしているか評価します。

こんなことをがんばろう

3年	植物・チョウを育てよう 光を当てよう 日なたとひかげ じしゃくのひみつをさがろう 風やゴムのはたらき	自然事象の違いに気づいたり、比較したりできるようにします。植物観察には虫メガネ、虫かごなどを個人で持っている人と観察しやすいです。
4年	電気のはたらき 季節と生き物 月と星 もののかさと温度 体のつくりと動き 水のすがた	自然事象を様々な働きや性質と関係づけられるようにします。「月と星」の学習では、自宅でも観察をお願いします。
5年	発芽と成長 メダカの誕生 天気の変化 ふりこ 流水による土地の変化 電流が生み出す力 人の誕生 もののとけ方	条件に着目しながら、観察や実験などを計画的に行えるようにします。土地の様子については、旅行などで見かけることがありましたら、写真やスケッチをお願いします。
6年	物の燃え方と空気 体の仕組み 植物の体のつくり つりあいとてこ 土地のつくりと変化 水溶液 電気の利用 生き物と環境	多面的な観点から観察、実験などを行い、結論を導けるようにします。地層の様子は、出かけたおりに目にする機会がありましたら、是非よく見せてあげてください。